



# 地理

## 世界各地の人々の生活と環境 —地理写真の読み取りを中心とした学習指導—

東京都立中学校教諭

### 1 はじめに

世界各地の生活と環境は、現行の学習指導要領において中項目として復活し、新学習指導要領においても、同様に位置づけられている。そのねらいは、世界の諸地域を学ぶ前に自然環境に着目し、宗教などの社会的な事象も含めて、世界の人々の生活や環境の多様性について理解させることである。

指導計画を作成するにあたり留意すべき点は本単元の扱いが中学校入学後の比較的早い時期に設定される点である。各学校の事情により、一概には言えないが、多くの場合発達段階としては、中学校の学習に取り組む初期段階であり、教科への興味や関心を引き出すことが、最も重要な時期である。そうした時期において、本単元の学習内容は、世界に目を向ける地理学習の窓口としては最適の舞台であるが、その反面で展開次第によっては、地理学習に対する拒否反応を植えつけかねない危険性をもはらんでいる。

本稿では、生活と環境の学習を中学校における地理学習の導入的な単元としてとらえ、地理写真や図版の読み取りに焦点をあて、展開事例をまとめてみた。また、最後にICTの活用にも触れている。

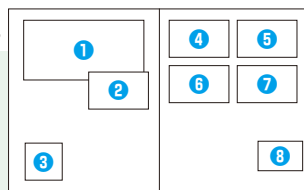
### 2 地理写真を読む

地理学習における写真は、単なる「景色」を

写し取った風景写真としてではなく、人々の営みを読み取っていくような「景観」としてとらえる視点が必要になってくる。『社会科 中学生の地理』（以下、教科書）には、p.15, p.29に写真の読み取り方が解説されているので、このページを活用し地理的な見方として、着目すべきポイントをあらかじめ生徒に理解させておくことが大切である。

次に、教科書のp.18～27の写真の視点と用途を分類してみよう。

右図は教科書p.18～27の誌面レイアウトを簡略化したものである。①～⑧は資料番号とその位置を示す。いずれの見開きにおいても同様の構成となっている。



#### (1) 遠景の視点 (写真①)

①の写真は、自然や土地利用のようすなどを大観するような写真である。地形や植生、住居、土地利用などから、その地域の自然環境のイメージを膨らませるような発問をしたい。

#### (2) 中景の視点 (写真④)

④の写真は、自然と人々の生活のかかわりが読みとれるような写真である。スコールやオアシスなど、生徒の漠然とした既得知識を生かした発問を工夫してみたい。

#### (3) 近景の視点 (写真⑤⑥⑦)

⑤⑥⑦の写真は、衣食住をテーマにして人々の姿や住居、屋内のようすなどより細かい観察が求められるような写真である。衣服の形状や材質、食卓の食べ物、住居の形状や材質などに着目させ、生徒の素朴な疑問を引き出したい。

写真の読み取りによって生徒から出た素朴な疑問の例

単元 写真	暑い地域の暮らし p.18~19	乾燥した地域の暮らし p.20~21	温暖な地域の暮らし p.22~23	寒い地域の暮らし p.24~25	高地の暮らし p.26~27
①	やしの木は自然に生えているの？ なぜ田んぼに水があまりないの？ なぜ人々は笠をかぶっているの？	なぜ木がないのに草があるの？ らくだは何を食べているの？ 人は何をやっているの？	なぜオリーブをまばらに植えているの？ なぜ草が少ないの？ なぜ家の壁が白いの？	なぜ集合住宅に住むの？ なぜ永久凍土をとかないようにするの？ なぜ窓が大きいの？ 何をして暮らしてるの？	なぜ3000mの高地に大都市があるの？ なぜ木がある山とない山があるの？ 何をして暮らしてるの？
④	スコールは一年中降るの？ どれくらいの時間降るの？ 傘は持たないの？	オアシスの水はどこから来るの？ 家ごとに水道はないの？ 下水はどうするの？	オレンジの栽培は日本のみかんと似ているの？ いつごろ収穫するの？	洗濯するときは凍らないの？ 凍らせると洗濯物はいたまないの？	アルパカは何を食べているの？ なぜ木がないの？ 人は世話をしていないの？
⑤	普段も伝統的な衣服を着ているの？ 短パンやスカートははかないの？	普段も伝統的な衣服を着ているの？ なぜ長袖や長い裾の服や頭巾を身につけているの？ なぜ白い服や黒い服を着るの？	日本の夏と冬と着るものが似ているの？ 伝統的な衣服は着ないの？	毛皮の下には何を着ているの？ 一年中毛皮を着ているの？	普段も民族衣装を着ているの？ なぜ帽子をかぶっているの？ なぜ衣服にアルパカの毛を使うの？
⑥	なぜ床に座って食べるの？ スプーンがあるのに、なぜ手づかみで食べるの？	食事は手づかみで食べるの？ 野菜は食べないの？	スペインは米が主食なの？ 食材は日本と似ているの？	食料はどこで手に入るの？ 野菜は食べないの？ 肉は食べないの？	じゃがいもはどのようにして食べるの？ じゃがいも以外に何を食べているの？
⑦	なぜ高い床にするの？ なぜ屋根が急傾斜になっているの？	なぜ窓があまりないの？ なぜ屋根が平らなの？ なぜれんがで家を作るの？	なぜガラス窓がないの？ なぜ日よけシートの下にイスが並んでいるの？	なぜ集合住宅が高床になっているの？ 高床の下は、何かに使われているの？	れんがの家なのになぜ窓や屋根の形が乾燥した地域と違うの？
⑧	地元の人は海水浴をしないの？ 外国人は、どの国からきているの？	なぜ円形の農場がつくられたの？ 水はどこから来るの？			伝統的な暮らしをしている人々はインターネットを使っているの？

これらの視点を助言して、写真から導き出した生徒の疑問を、p.11の表にまとめてみた。これらの疑問は、授業の導入の発問時や展開時に生徒から挙げられたものである。

### 3 授業の展開

#### (1) 導入としての写真①④の活用

異なる自然環境の地域を学習するうえで、景観写真①の観察は導入に欠かせない素材である。アの写真は、乾燥した地域を象徴する砂漠、らくだなどを容易に読み取ることができ、教科書p.21④のオアシスの写真へと導きながら、そこに暮らす人々の生活の学習へとスムーズに展開することができる。イの写真のように、見ただけでは意見が出にくい場合には、教師が教科書p.25側注の用語解説を用いて、建物から出る熱によって永久凍土をとかさない工夫がなされていることに気づかせることにより、永久凍土の存在と教科書p.25④の凍った洗濯物のイメージを結びつけやすくなる。

#### (2) 展開の中核をなす写真⑤⑥⑦の活用

異なる自然環境の中で、人々の生活がどのように違ってくるのかを考察させるうえで、衣食住にスポットを当てて比較すると理解が深まりやすい。ウの写真では、暑い砂漠の環境に暮らす人々が、なぜ前時に学んだエの熱帯の人々とは異なる全身を覆うような衣服を着るのかという疑問がわいてくる。アクティブ・ラーニングの手法を活用して、p.11に例示したような疑問に対する仮説を戦わせてみることも効果的である。ここで、自然環境との因果関係だけでは説明できない宗教などの社会的条件が存在することに気づかせられれば、単元の末尾にくる宗教と生活とのかかわりへの布石を打つことができよう。

#### (3) 学習を深める写真⑧の活用

この単位では、人々の生活が可変的なもので



ア 乾燥した地域でのらくだの遊牧（教科書p.20①）



イ 雪におおわれた冬の市街地（教科書p.24①）



ウ 乾燥した地域の伝統的な衣服（教科書p.21⑤）



エ 暑い地域の伝統的な衣服（教科書p.19⑤）\*



オ インターネットカフェ（教科書p.27⑧）

あることに気づかせることも重要である。オの写真では、伝統的な生活が色濃く残る高地の暮らしにも、現代化が進んでいることを象徴するものである。「伝統的」という言葉のもつ意味にも気づかせたい。

**(4) 学習のまとめ 分布図②と雨温図③の活用**

この単元では、写真の読み取りを主体に学習を展開していくが、本時の学習をまとめるにあたり、分布図②を活用したい。地理学習において、学習内容を地図化することは、最も重要な作業の一つである。ワークシートには、必ず白地図作業を組みこむことを提案したい。色鉛筆などの使用によりビジュアル化をはかることは、知識の定着にも効果的である。

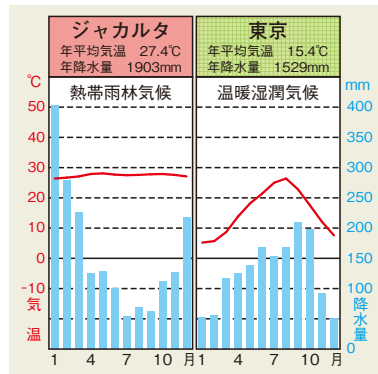
また、雨温図③は数値的な比較により、漠然とした「暑い」「寒い」のイメージをより実感しやすくする資料となる。教科書p.17の「技能をみがく6」の解説を参考に、読み取り方を十分に身につけさせうえて、話し合い活動では仮説の裏づけとして活用させたい。ここで着目させたいのは、各地の雨温図のとなりに東京の雨温図が必ず配置されていることである。気温の高低や降水量は、生徒の実体験が比較の基準となる。「この地域は、東京の夏より暑い」とか、「年間の降水量が東京の2倍以上」のような発表は、ただ数値を読みあげるだけよりも効果的であることに気づかせたい。

**4 まとめ**

近年、学校教育の場でもインターネット環境の整備が進み、電子黒板やタブレット端末の活用も急速に普及しつつある。新学習指導要領解説においても、「情報手段の活用を積極的に工夫することが望まれる」とあり、今後の地理学習の展開には必要不可欠なものになるであろう。そこで、バーチャル地球儀ソフトを活用した事



熱帯の分布 (教科書p.18②)



ジャカルタと東京の雨温図 (教科書p.18③)

例を紹介したい。

バーチャル地球儀ソフトとは、インターネットを通じて無料で利用できるGoogle Earthに代表されるもので、世界中の衛星写真を閲覧することができる。画面上の縮尺を自在に変えることができ、これまでの地図や写真とは全く異なるアプローチができ、生徒の興味や関心を引き出す素材としては、格好の教材である。

例えば、教科書のp.21の写真⑧にある砂漠のトマト畑の解説に「円形の農場」とあるが、具体的なイメージがつかみにくい。しかし、バーチャル地球儀ソフトでアラビア半島をさがし、縮尺を大きくしていくと、サウジアラビア北西部のヨルダンとの国境付近や、南部のダワシルワジ付近に無数の緑の円が浮かび上がってくる。タブレット端末などを使える環境があれば、生徒に操作させると地理的な探究心を高めるうえで極めて効果的である。

3年後に迫った新学習指導要領の実施に向け、さらなる授業研究が求められている。